

【経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)】

入院診療計画書

疾患名

診断群分類

主治医

看護師

薬剤師

栄養士

ID

氏名

病棟(病室):

	1月1日	1月2日		1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日
	入院日(手術前日)	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
目標	不安なく手術に臨める	術後合併症が起こらない 痛みがコントロールできる		歩行ができる 				退院に対して不安がない	
内服	持参薬を確認します 寝る前に下剤を飲みます 								
点滴注射		点滴を開始します 		点滴を終了します					
検査									
観察	検温します(毎日) 尿量を測ります(毎日)			傷の状態を みます(退院するまで毎日) 					
処置	爪切り、ひげそりをして下さい ストッキングの採寸をします 指輪等は自身で保管してください マニキュアは除去します	浣腸をします  IDバンドをつけます 入歯・金属類を外します 弾性ストッキングをはきます	手術室で尿の管を入れます 酸素吸入します	状態をみて ストッキングを 脱ぎます	状態をみて 尿の管を 抜きます				
食事	必要に応じて栄養士の 訪問があります 24時より食事摂取できません	6時より水分摂取できません 	帰室後2時間で水分摂取 できます 	朝から食事が できます 					
清潔				尿の管が抜けたら 入浴できます 					
排泄			ベッドの上で排泄します	尿の管が抜けたら トイレで排泄 できます 					
安静	院内自由 		ベッドの上で安静にします (寝返りはできます) 	歩行できます					
説明指導	外来で手術について医師より 説明があります 入院生活、手術の流れについて 説明があります 薬・食事について説明 麻酔科医が訪問します 術後お部屋が変わることがあります	浴衣に着替えます 				術後3日から 6日の間で 退院できます	薬の説明を します 退院後の生活 について説明します	退院の説明を します	
症状				総合評価 □あり □なし			日常生活能力	□問題なし □介助が必要な状態です	
本人・家族の要望				特別な 栄養管理の 必要性	□あり □なし		認知機能	□問題なし □不安定な部分があります	
看護計画等							気分・心理状態	□問題なし □不安定な部分があります	

本人氏名	
親族又は代理人氏名	続柄:

説明日

西暦

年

月

日

主治医氏名